

秋冬どりブロッコリーのは種期試験

阿部 昇一・北原 洋・逸見 俊五

(福島県農業試験場いわき支場)

Experiment on Time of Seeding of Broccoli for Autumn and Winter Cropping

Shoichi ABE, Hiroshi KITAHARA and Shungo HENMI

(Iwaki Branch, Fukushima Prefecture Agricultural Experiment Station)

1 は し が き

福島県における、ブロッコリーの栽培は秋冬野菜の中でダイコン、ハクサイとともに主要品目になろうとしている。

従来はカリフラワーとともに、都市近郊野菜として定着していたものであるが、近年、需要の増大と価格の安定から、水田転作地、夏秋野菜との輪作、タバコ転作等に導入されており、年々拡大の傾向が見られる。

本報はは種期と品種を組合せた試験で、昭和52, 54, 55年の3か年間を検討した結果の概要である。

2 試 験 方 法

(1) 供試品種： 岡緑・常緑・磯緑・緑風・中晩生緑・グリーン18・グリーンコメット・ロイヤルグリーン・グリーンビューティ。

(2) は種期： ① 7月15日, ② 7月25日, ③ 8月5日, ④ 8月15日, ⑤ 8月25日, ⑥ 9月5日

(3) 施肥量： N-20, P₂O₅-18, K₂O-20, 苦土石灰-100, 堆肥-2,000 (kg/10a) を施用した。

(4) 栽植距離 (cm)： うね幅-65, 株間-35, 45。

3 試 験 結 果

(1) 昭和52年度

暖冬年次であり生育は順調であった。収穫時の草丈は第3回は種以外はは種期が遅いほど低かった。同一は種期では中晩生が最も高く、岡緑を除いて晩生のものほど高い傾向であった。

頂花蕾の収穫はじめは各は種期ともグリーンコメットが最も早く、中晩生が最も遅い。他はこの中間で常緑、グリーン18, ロイヤルグリーン, 岡緑, 緑風の順であった。頂花蕾重は第3回は種までは岡緑が最も重く、各は種期とも晩生のものほど重い傾向があった。常緑, グリーン18, ロイヤルグリーンはは種期が早いほど重かった。第3回は種以後は花蕾が若干小さくなった。しかし第5回は種の緑風, 中晩生緑は比較的大きな花蕾の収穫となった。しかし, 常緑, ロイヤルグリーンは各は種期ともリーフィーが見られ, グリーン18, 岡緑も若干発生した。側枝花蕾は量質とも中晩生緑以外はよいものが収穫されなかった。

イ. 昭和52年度

	花蕾重 (g)	花蕾の大きさ		収穫時の 大きさ (cm)	リーフィー (%)	不ぞろい (%)	収穫始め (月,日)
		たて (cm)	よこ (cm)				
第一回は種	グリーンコメット	107.3	9.7	10.7	64.9		9.22
	常緑	215.3	12.4	13.7	71.7	30	9.29
	グリーン18	221.3	12.5	13.6	71.7		10.6
	ロイヤル・グリーン	144.9	10.9	12.2	73.9	97.5	10.6
	岡緑	438.3	15.5	16.9	70.3	45	10.16
第二回は種	中晩生緑花椰菜	361.7	13.8	15.4	101.2	10	10.30
	グリーンコメット	70.1	8.0	8.7	70.3		10.6
	常緑	264.4	13.3	15.1	79.4	47.5	10.20
	グリーン18	230.9	12.3	13.7	70.3	5	10.20
	ロイヤル・グリーン	185.7	12.4	13.7	77.4	65	10.27
第三回は種	岡緑	342.7	13.9	15.6	66.0	27.5	11.2
	緑風	296.9	14.4	16.2	79.9		11.6
	中晩生緑花椰菜	203.0	11.6	13.0	95.8	5	11.6
	グリーンコメット	80.6	8.4	9.1	70.7		10.20
	常緑	123.3	10.0	11.2	77.4	65	11.6
第四回は種	グリーン18	120.3	9.8	10.7	70.7	12.5	11.6
	ロイヤル・グリーン	60.6	8.3	9.0	76.5	25	11.10
	岡緑	163.6	10.6	11.7	68.2	2.5	11.14
	緑風	103.3	8.8	9.4	79.3		11.20
	中晩生緑花椰菜	136.5	10.2	11.8	89.4		11.28
第五回は種	グリーンコメット	34.3	5.9	6.7	67.7		11.14
	常緑	56.6	7.3	8.1	69.7	32.5	11.17
	グリーン18	50.8	6.6	7.2	64.3	2.5	11.20
	ロイヤル・グリーン	34.8	6.1	6.8	68.2	12.5	11.28
	岡緑	73.5	7.9	8.8	59.9		12.1
第五回は種	緑風	89.9	8.0	8.5	60.2		12.8
	中晩生緑花椰菜	102.2	8.9	9.7	70.2		12.12
	グリーンコメット	10.6	3.6	4.2	50.9		11.20
	常緑	36.4	6.0	6.7	52.5	75	12.8
	グリーン18	28.1	5.2	5.7	47.8	12.5	12.12
第五回は種	ロイヤル・グリーン	34.9	5.6	6.1	48.3	17.5	12.12
	岡緑	45.7	6.1	7.1	44.6	10	12.15
	緑風	146.9	9.6	10.5	43.3		2.9
	中晩生緑花椰菜	191.3	11.7	12.7	54.1	6.3	2.14

注. 第5回は種 中晩生は1区8株調査, 他は収穫できず。2月20日まで調査。

(2) 昭和54年度

第1回, 第2回は種ものは定植後, 台風の被害を受け生育は著しく妨げられた。その後, 晩秋から初冬にかけて暖かく生育は順調であったが湿害の被害が大きく, 生育は遅れた。収穫時の草丈は株間 45 cm・35 cm いずれも, は種期が遅くなるほど低い傾向を示した。

頂花蕾の収穫始めは常緑が最も早く, 岡緑・グリーンビューティの順で中晩生緑, 緑風が最も遅かった。

頂花蕾重は第1回は種の株間 35 cm でグリーン・ビューティが重かったが, それ以外では緑風が株間 45 cm, 35 cm 両区とも最も重かった。

は種期の早晩と頂花蕾重では株間 45 cm 区では, は種期が早いほど重く, 35 cm 区では差はなかった。第3回は種では緑風のみが 100 g 以上となった。

リーフィーは常緑の各は種期に若干発生が見られた。花蕾の不揃いは中晩生緑, グリーンビューティの各は種期に見られた。

(3) 昭和55年度

各は種期とも冷夏にあい, 低温とべと病の多発により育

ロ. 昭和54年度

は種期	栽植 距離	品 種	花蕾重 (g)	花蕾の大きさ		収穫時の 大 き さ 草 丈 (cm)	収穫始め (月,日)
				短 径 (cm)	長 径 (cm)		
第一回は種 8/15	65 × 45	岡 緑	151.1	10.3	11.3	41.5	12. 4
		緑 風	175.0	9.9	10.7	41.8	1. 18
		中 晩 生	138.5	9.1	10.3	51.6	2. 26
		常 緑	112.6	9.6	11.0	52.0	11. 27
	65 × 35	グリーンビューティ	164.0	10.4	11.0	48.7	1. 8
		岡 緑	153.7	10.4	11.6	40.8	12. 4
		緑 風	111.3	8.0	8.9	43.8	2. 26
		中 晩 生	108.0	8.1	9.3	49.2	2. 26
	65 × 35	常 緑	62.4	8.2	9.1	41.8	11. 27
		グリーンビューティ	170.3	10.1	11.2	48.7	1. 8
第二回は種 8/25	65 × 45	岡 緑	107.3	8.9	10.1	39.0	2. 26
		緑 風	148.4	9.6	10.9	35.3	3. 24
		中 晩 生	135.1	9.0	10.3	45.4	3. 17
		常 緑	92.7	8.4	9.7	38.7	12. 25
	65 × 35	グリーンビューティ	147.6	8.6	9.5	41.7	3. 10
		岡 緑	132.5	9.3	10.3	38.8	2. 26
		緑 風	164.9	10.0	11.1	40.7	3. 24
		中 晩 生	119.5	8.4	9.5	41.8	3. 17
	65 × 35	常 緑	68.5	7.5	8.7	36.1	1. 8
		グリーンビューティ	109.0	8.2	9.0	37.8	3. 17
第三回は種 9/5	65 × 45	岡 緑	77.7	8.6	10.1	25.9	3. 24
		緑 風	101.2	9.6	10.3	29.2	4. 10
		中 晩 生	77.7	9.0	10.0	32.4	4. 10
		常 緑	28.8	5.7	6.8	25.4	3. 17
	65 × 35	グリーンビューティ	89.7	8.3	9.3	29.2	3. 17
		岡 緑	74.5	8.5	9.4	26.1	3. 17
		緑 風	102.8	9.6	10.4	30.8	4. 10
		中 晩 生	91.5	9.2	10.6	33.9	4. 10
	65 × 35	常 緑	67.9	8.1	9.8	28.7	3. 10
		グリーンビューティ	90.6	8.5	9.6	29.8	3. 17

苗期から生育が妨げられた。特に第3回, 第4回は種期ほど被害が大となり, 花蕾の収穫はできなかった。収穫期の草丈は常緑の他は株間 45 cm, 35 cm 両区共には種期が遅くなるほど低くなった。

頂花蕾の収穫始めは各は種期とも常緑が最も早く, 岡緑, 緑風, 中晩生緑の順で磯緑が最も遅かった。

頂花蕾重は各は種期と品種に一定の傾向はみられなかったが, 収穫期の遅い磯緑は重い傾向を示した。

は種期の早晩と頂花蕾重との関係は中晩生緑には差を生じたが他の品種にはばらつきがあった。

リーフィは各は種期とも常緑に発生が見られたが緑風, 磯緑にみられなかった。花蕾のそろいは中晩生緑が特に悪かった。軟腐病発生は 7 月 25 日は種の常緑に被害が見られた。

ハ. 昭和55年度

は種期	栽植 密度	品 種	花蕾重 (g)	花蕾の大きさ		収穫時の 大 き さ 花蕾高 (cm)	異常花蕾率 (%)			収穫始め (月,日)
				短 径 (cm)	長 径 (cm)		リー フィー	不 ぞ ろ い	軟腐病	
7/25	65 × 45	常 緑	217	10.4	12.5	63.5	7.1	11.9	16.6	10. 27
		岡 緑	316	11.4	12.6	53.1	0	0	0	11. 12
		緑 風	265	11.0	12.4	56.3	0	0	0	11. 27
		中晩生	225	10.0	11.3	65.2	2.4	2.4	0	11. 27
	65 × 35	磯 緑	310	11.4	12.7	61.4	0	0	0	11. 27
		常 緑	215	10.6	12.2	59.5	3.5	14.2	5.3	10. 27
		岡 緑	251	11.4	13.2	55.0	0	3.5	1.7	11. 12
		中晩生	215	10.4	11.5	66.0	0	1.8	0	11. 27
	65 × 35	磯 緑	275	11.5	12.4	58.0	0	0	0	11. 27
		常 緑	202	9.9	11.2	64.7	12	4	0	11. 12
8/5	65 × 45	岡 緑	255	9.9	11.0	48.7	5	0	0	12. 19
		緑 風	263	10.5	11.3	49.6	0	0	0	12. 19
		中晩生	257	9.4	10.5	47.6	0	18.1	0	1. 17
		磯 緑	304	10.1	11.0	49.9	0	0	0	12. 27
	65 × 35	常 緑	208	9.3	10.6	62.5	9.2	1.8	0	11. 17
		岡 緑	245	10.2	11.7	49.0	0	0	0	11. 27
		中晩生	284	9.9	10.8	58.8	0	0	0	12. 27
		磯 緑	242	8.8	9.4	41.3	0	0	0	1. 17

注. 株間 45 cm・収穫株数, 44 株の平均, 株間 35 cm・収穫株数, 57 株の平均

以上, 3 か年間の成績概要であるが, 収穫期を異にしたのは種の適期は年内収穫 (11~12月) の場合は 7 月下旬から 8 月上旬に, 1 月から 2 月収穫の場合は 8 月中旬から下旬, 3 月収穫の場合は 8 月下旬が適期と思われる。

品種としては, 岡緑, 緑風, 中晩生緑が有望である。次に栽植距離の中で株間を検討して見たが, 頂花蕾重に差が出ないので, 密植ほど多収となる傾向が見られ, は種期が遅いほど小花蕾となるのでともに密植が有望と思われる。